



発行：NPO法人みのお山麓保全委員会 2020年(令和2年)7・8・9月号

かけがえのない森の恵み 人が手を入れて保全されてきた里山の自然



箕面の森は、昔は農業や暮らしに必要な持続可能な活用がされていた落葉広葉樹が中心の里山林、常緑広葉樹林が優先する社寺林、谷筋に残るスギ・ヒノキの人工林、あわせて、田畑やため池の堤防の草地的な部分など、さまざまな樹林で構成されています。

それらの樹林は、さまざまな環境に適応した昆虫や生き物たちの生息の場になっています。

また、大阪都心から近く、豊かな自然が残された箕面の山間・山麓部には、多くの市民が訪れ、心の安らぎや憩いの場を与えています。かけがえのない箕面の森は、都市に住む私たちの暮らしに、癒しと学びの場を提供してくれています。

森の恵みと自然災害のリスク、スギ・ヒノキの人工林での台風被害、放置された里山林、減少しつつある農地やため池、かけがえのない森の恵みを次世代に引き継いでいくための知恵が求められています。

箕面の森には3,000種以上の昆虫が生息し、生態系を支えています。

昆虫は4億年という長い進化の過程で、さまざまな環境に適応して、地球上で最多の100万以上の種に分かれました。昆虫の多様性は、植物や生き物、環境の多様性と連動して、豊かな生態系を支えています。箕面の里山に生息する虫たちの顔には、進化の過程で適応した多様性がよくあらわれています。



スズメバチ



ヒメカマキリ



ミヤマアカネ



セミ



ゾウムシ



ハンミョウ



ショウリョウバッタ



マイマイカブリ



オオミズアオ



オナガアゲハ

市民の森「こもれびの森」の植樹活動に参加しよう！

台風被害を受けた「こもれびの森」を再生

シカによる食害から植生を守るため、被災地の周辺には金柵を設置しています。比較的平坦なハイキング道沿いを中心に、斜面地も含めて、市民が中心になって森の再生を行います。2023年度まで、少なくとも5ヶ年計画で継続して活動します。

市民の森として憩いの場を提供

森の再生とあわせて、箕面の間伐材を活用したベンチの設置、箕面ビジターセンター自然解説員による自然観察ツアーなどを行い、災害復興とあわせて、市民に親しまれる森づくりをめざします。

■ こもれびの森づくり活動 ■

2021年3月14日(日) (予告)

150本の苗木をみんなで植えよう！

○コバノミツバツツジ50本

※2020年植樹のモミジの間に植樹

○ヤマザクラ50本

※ハイキング道沿いに植樹

○その他どんぐりのなる木50本

詳細は、後日発表します。



イロハモミジ



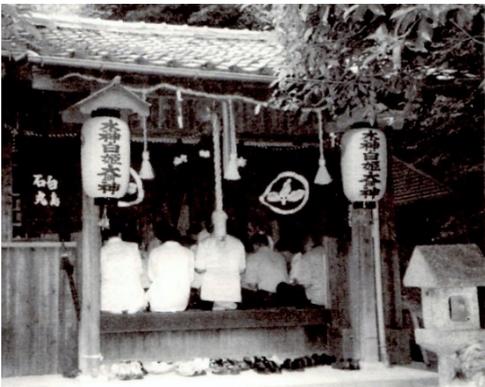
コバノミツバツツジ



ヤマザクラ

自然に対して畏敬の念を持ち、人と自然が寄りそった災害に強い森づくりの活動

昔、農業生産や日常生活において水の確保は今よりもずっと深刻でした。そこから生まれてきたのが「水神信仰」といわれています。水神信仰は、雨乞いと同時に水害防止にも深く結びついています。農業生産のための水は、ため池を作るなど、雨水の効率的な利用を行い確保してきましたが、山麓部は急傾斜な地形のため、池は時に決壊し、災害を呼び起こすことがありました。水の神様(水神白姫神社)は、**地域の人々の水確保と水害防止への切実な願い**が結びついたものになっています。



白島 水神白姫神社のお参り



取池に残されている記念碑(表面)



災害の記録が刻まれた裏面

昭和42年7月9日豪雨により
導心ヶ谷大宮寺池普請池取池
堤防決壊シ之ガ復旧工事ハ
昭和43年3月31日竣工ス
坊島如意谷水利組合

私たち日本人は、**土砂崩れを防ぐための森林の保全**や堤防の整備、遊水池となる水田やため池の活用など、生態系(自然環境)がもつ機能をうまく活用し、豊かだが荒々しい自然を前に、自然と対立するのではなく、自然に対して畏敬の念を持ち、災害や危険を伝える石碑を残し、人と自然が寄りそうような知恵や自然感を持ってきました。



白島 医王岩近くの砂防ダム

気候変動がさらに進み、極端な気象現象の発生も予測されます。人工構造物と生態系が持つ機能をうまく組み合わせお互いに補いあう、持続可能な**生態系の機能を活用することが、防災・減災のための有効な対策**の一つとして期待されています。

生態系を活かした、災害に強い森づくりによる防災・減災の利点は、生態系を利用するため、人工構造物と比較して、**導入や維持管理にかかるコストが抑えられる可能性**があります。また生物多様性や生態系サービスを維持することで、美しい山なみ景観を維持し、きれいな空気を提供し、暮らしを支え、**みどり豊かな箕面のまちづくりに貢献**できることが大きな特徴です。

山とみどりの研究フォーラム(エキスポの森の生物多様性の復活) ～10月18日(日)開催～



「山とみどりのフェスティバル」

・山とみどりの体験フェア・・・11月3日(祝)瀧安寺前広場など

※どのような感染予防対策を行えば実施可能か検討中です。

・山とみどりの研究フォーラム・・・10月18日(日)箕面文化・交流センター8階

※人数限定・事前予約制、検温・手指の消毒・マスク着用で実施の予定です。

箕面体験学習の森(エキスポの森)では林野庁が人工林を皆伐し、多くの市民や学校と連携して植樹などの活動を行ってきました。森林整備の現状と復活した植生や生物多様性、及び環境学習活動などを予定しています。あわせて、増えすぎたシカの現状についても報告をしていただく予定です。

箕面の森 ハイキングマップが出来上がりました！



箕面の森の案内図



《箕面の森 ハイキングマップ》

みのお山麓保全委員会(箕面サンプラザ1号館2階)及び、土日祝日には箕面滝道の「森のふれあい広場」・「箕面ネイチャールーム」で頒布しています。

頒布の際は、1コイン(10円)募金にご協力をお願いします。

※箕面ビジターセンターでは無料で頒布しています。

子どものための自然体験リーダー養成講座 ～9月13日(日)受講生募集～

《子どもたちに伝えよう！身近な自然のすばらしさや大切さを！》

身近な自然体験を通じて、自然のすばらしさや大切さを伝え、子どもを生き生きと伸ばす環境教育インタープリターを養成する入門講座です。自然の見方、プログラムの作り方、自然の大切さを伝える技術、子どもを伸ばす体験の仕方などが学べ、すぐに使えるメリットがあります。



箕面の小学校のアフタースクールなどで、自然のすばらしさや大切さを伝え、子どもを生き生きと伸ばす活動を一緒に行ってみませんか！

《自然体験リーダー養成講座》

環境省・文科省登録講座

☆9月13日(日)午前9時30分～午後5時

☆会場 箕面市中央生涯学習センター3階講義室

☆参加費 2,000円(教材、テキスト代含む)

事前申込(先着10名)が必要



山林整備サポーター(ボランティア派遣)養成講座 ～10月24日(土)受講生募集～

《箕面の山で楽しく活動しませんか！》

NPO山麓委員会は、山林所有者が高齢だったり、遠隔地に住んでいるなどの理由で、山の手入れが出来ない場合に、山林所有者からの要請を受けて、山林整備ボランティアを派遣しています。年々、ボランティア派遣要請が増えており、山林整備サポーターの増員が必要となっています。



作業がしやすい冬の間、近くの山林で、所有者に代わって、倒木の処理や山の手入れの作業を行っていただく山林整備サポーターを募集しています！

《山林整備サポーター養成講座》

☆10月24日(土)午前10時～午後3時 雨天順延10/31(土)

☆集合場所 箕面市粟生外院5丁目「皿池公園」

☆午前・・・基本的な技術や安全知識を学ぶ講義

午後・・・近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験

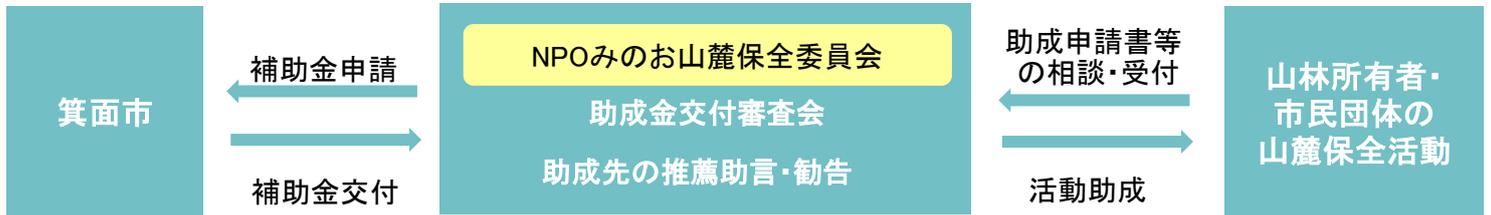
参加費は無料。事前申込(先着20名)が必要



持続的な仕組みによる 山麓保全活動の着実な推進

山麓部の緑を守る取り組みは、NPO山麓委員会が独自で行う保全活動と山林所有者や団体に助成金を交付して山麓保全活動を行う「山麓保全ファンド」の2本立てで進めてきました。助成金交付による活動は、りそな銀行を受託者として公益信託で運用してきましたが、事業継続が困難となり、本年度からNPO山麓委員会を通じた直接助成に切り替わりましたが、山麓保全活動の継続と円滑な推進に取り組みます。

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



《山麓活動助成 8月期の募集》

「みのお山麓保全活動助成金」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。

NPO山麓委員会は、中間支援組織として、市民や山林所有者の活動支援や「みのお山麓保全ファンド」の助成を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。

お気軽にNPO山麓委員会事務局にご相談ください。



美しい山なみ景観

○申請受付期間:8月1日(土)~31日(月) ○対象となる事業期間:2020年4月1日~2021年3月31日

○助成金額:1件あたり25万円以内

○助成の流れ:受付(8/1~31)⇒ 8月期審査会で助成決定(9月下旬頃)⇒ 助成(10月下旬頃)

(注記)3月下旬に開催予定の2月期の審査会は、新型コロナウイルスの影響で、9月下旬に延期となりました。

NPO山麓委員会への募金や箕面の山災害復興募金にご協力をお願いします。

○山麓保全活動への募金は、NPO山麓委員会を通して公益信託に募金を行っていましたが、公益信託の終了に伴い、NPO山麓委員会への募金に切り替わりました。山麓保全活動全般への募金として、活用させていただきます。

○「箕面の山の災害復興募金」は、山での植樹など、災害復興に用途を限定した募金として、活用させていただきます。

《2019年度の災害復興募金》 期首残高 ¥ 176,462 募金額 ¥ 338,544 支出額 ¥ 153,300 期末残高 ¥ 361,706



《住友ゴム工業㈱からいただいたクヌギの苗を植樹》

《台風被害地の「こもれびの森」にイロハモミジ53本を植樹》

NPO山麓委員会の活動への募金(箕面の森の守りびと/サポート会員)、及び箕面の山の災害復興のための募金に、引き続きご支援・ご協力をお願いします。

ご寄付をいただいた方に、年4回、みのお山なみ通信や箕面ビジターセンターだよりなどをお送りします。

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX:072-724-3615 携帯電話:090-1133-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索:山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

